



## 京都で撮影された映画たち

明治からトーキーまで



殉教血史 日本二十六聖人

5/11金 18:00-20:00頃

### 明治の日本 (予定)

(24分・デジタル・白黒・無声)

1897-1899(リュミエール社) 撮 コンスタン・ジレル, ガブリエル・ヴェール

日本で撮影された最古の動く映像で、リュミエール社のコンスタン・ジレル、ガブリエル・ヴェールによって撮影されたもの。一部に日本人カメラマンの草分け・柴田常吉が撮影した映像が含まれているという説もある。

### 実録 忠臣蔵 (活弁トーキー版)

(74分・35mm・白黒)

1910-12(横田商会) 監 牧野省三 | 出 尾上松之助, 片岡市之正, 大谷鬼若, 嵐橋楽 | 特別口演 巴うの子 | 声色弁士 生駒雷遊, 国井紫香, 加藤柳美, 谷天朗

日本映画の父・牧野省三と最初の映画スター・尾上松之助コンビによる『忠臣蔵』(オリジナル長は不明)は、1910-12年に撮影された各場面をまとめたもので「日本映画最初の全通しの『忠臣蔵』」と呼ばれる。マツダ映画社所蔵の35mm可燃性ポジから復元した『実録 忠臣蔵』は、NFAJ既蔵版(42分)と同様、後に音声が付加された活弁トーキー版であるが、NFAJ既蔵版には含まれていないメイントイトルのほか、「南部坂雪の別れ」以降の多くの場面を含んでいる。

明治期の近代化政策のもと、京都では、シネマトグラフ(映画)とリュミエール社のカメラマンを伴った稲畑勝太郎の帰国を機に、映画の上映・撮影が始まり、1930年代までに多くの撮影所が作られました。本特集では、「明治150年展 明治の日本画と工芸」にちなみ、当時の京都で撮影された現存作の中から、上映機会の稀な作品を厳選し、明治期、無声映画期、トーキー期の三つの時代にわけて上映します。

明治時代の当時の京都の映像や劇映画の表現、無声映画時代に「日本二十六聖人」を描いたオールスター大作の醍醐味、そしてトーキー初期に太秦に作られたJ.O.スタジオの和風モダンな作品をお楽しみ下さい。

### 活弁とは?

無声映画の時代に日本の映画館では弁士による映画説明が行われていました。当時はそれぞれの劇場が弁士を雇い、その評判によって劇場の人気が左右されるほど大切な役割を担っていました。

### 澤登翠 台本、語り

1972年故松田春翠に入門。第一線で活躍する弁士として国内外の公演を通して幅広い世代に活弁の魅力を伝えている。活弁の継承者としての活動が評価され文化庁映画賞他数々の賞を受賞している。また、本年3月には松尾芸能賞特別賞を受賞した。

### 湯浅ジョウイチ 作曲・編曲、ギター

1987年、東京国際映画祭でD・W・グリフィスの『国民の創生』の楽師を務めて以来、無声映画用音楽の復元や作・編曲等を行い、後に和洋楽団「カラード・モノトーン」を結成。近年はヨーロッパツアーも行う等、精力的に活動している。

### 古橋ユキ バイオリン

桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒業。原田幸一郎氏、広瀬悦子氏に師事。アルゼンチン・ブエノスアイレスで4年間の演奏経験を持つ。現在は自身のタンゴ楽団を中心に演奏活動を展開。

5/12土 14:00-15:36

### 殉教血史 日本二十六聖人

(96分・35mm・白黒・無声)

\*弁士 | 澤登翠(台本・語り)  
演奏 | 湯浅ジョウイチ(作曲・編曲、ギター)、古橋ユキ(バイオリン)

1931(日活太秦) 監・脚 池田富保 | 原 エメ・ヴィリオン, ヘルマン・ホイヴェルス | 撮 酒井宏 | 出 山本嘉一, 片岡千恵蔵, 美濃部進, 沢田清, 鳥羽陽之助, 三樹豊, 山田五十鈴, 伏見直江, 川上弥生, 浦辺粂子, 吉野朝子, 浅香新八郎, 光岡竜三郎, 南部章二

朝鮮京城府のカトリック信徒・平山政十が巨額の資産を投じ、1907年に長崎で起きたいわゆる「二十六聖人の殉教」を映画化した国際大作。国内のみならずローマでもロケ撮影が行われた。作品の規模と新奇さが公開当時大きな反響を呼んだ反面、プロパガンダの側面も強い異色作。オリジナルは19巻。



実録 忠臣蔵



音楽映画 百万人の合唱

5/12土 16:00-17:05

### 特急艦隊

(6分・35mm・白黒・無声)

1933(J.O.トーキー漫画部) 作画 中野孝夫, 田中喜次, 舟木俊一, 永久博郎 | 撮 平奏陣

J.O.の第1回本格的トーキーアニメーションで、「おもちゃ箱シリーズ」の第1弾。列車に乗ったおもちゃ箱の人形たちが、襲ってきたネズミと闘う物語で、キャラクターや展開に当時のデズニアーアニメーションの影響が濃厚。サウンドが欠落している。

### 音楽映画 百万人の合唱 [新篇]

(59分・35mm・白黒・トーキー・英語字幕付)

1935(J.O.日本ビクター) 監・脚 富岡敦雄 | 原 J.O.ビクター文藝部 | 脚 山名義郎 | 音 飯田信夫 | 撮 円谷英二 | 装置 吉田謙吉 | 出 夏川静江, 伏見信子, 徳山璣, 伊達信, 小唄勝太郎, 小林千代子, 藤山一郎, ヘレン隅田, 市丸, 渡邊洋子

J.O.の第1回作品。ピアノ調律師(徳山)が、令嬢(夏川)の支援を受け、当代人気歌手勢揃いの晴れ舞台に立つ。音楽映画を謳った本作では、円谷英二の凝ったカメラワークとともに、RCA録音システムの音質の良さと徳山璣、市丸、ヘレン隅田、昭和初期の歌謡、小唄、ジャズまで幅広い音楽を楽しめる。

5/12土 18:00-19:54

### 新しき土 [日英版]

(114分・35mm・白黒・トーキー)

1937(ファンク映画製作所=東和商事=J.O.スタジオ) 監・脚 アーノルト・ファンク, 伊丹万作 | 撮 リヒャルト・アングスト | 美 吉田謙吉 | 音 山田耕筰 | 出 原節子, 早川雪洲, ルート・エヴェラー, マックス・ヒンダー, 小杉勇, 英百合子, 中村吉次, 高木永二, 市川春代, 村田かな江, 常盤操子

日本を海外に紹介する日独合作映画で、ヒロインを当時16歳原節子が演じた。欧州留学から帰国した日本人青年が、日本的なものの価値を見直すまでを描く。[日英版]は、ファンクが監督する[ドイツ版]と同時進行で、同じコンティニューイティ・俳優・スタッフを用いて伊丹万作が監督し、「西洋」対「日本」という対立構造を弱めるように構成されている。円谷英二の協力により、日本で初めて本格的なスクリーン・プロセス撮影が行われた。